

町民のみなさんと歩む

木古内町

# 議会だより

<http://www.town.kikonai.hokkaido.jp/kikonaityougikai/kikonaityougikai.htm>

令和3年11月1日発行

- 発行／木古内町議会
- 編集／議会だより編集特別委員会
- 〒049-0422北海道上磯郡木古内町字本町218  
TEL. 01392-2-3131 FAX. 2-4418

木古内町議会

検索 



資料館に展示してある咸臨丸のものと思われる碇

サラキ岬沖で座礁した咸臨丸 終焉150年を迎える  
～勝海舟や福沢諭吉を乗せ、日本初の太平洋横断～



## contents

定例会

P2

4議員が町政を問う

P4

令和2年度決算審査特別委員会

P9

令和2年度に実施した新型コロナウイルス感染症対策事業

P12

常任委員会報告・議会改革特別委員会

P14

お知らせ ニュース&インフォメーション

P15

我が町のサークル紹介&編集後記

P16



中央公民館に設置している自動センサー蛇口

は、9月9日から16日まで開催され、9日は令和3年度一般会計のほか7会計の補正予算、条例の制定等の議案11件、同意案2件などを可決しました。

また、令和2年度各会計決算認定については、特別委員会へ付託されました。（詳細は10ページ）

また、一般質問では、新井田議員、平野議員、竹田議員、相澤議員の4名から出され活発な議論が交わされました。（詳細4ページ）

# 行政報告

# 町民が接種できるよう努めます。

## 意見書

### 各関係大臣へ 意見書4件を提出

畜産物の消費拡大及び  
高温・干ばつによる農  
作物被害対策を求める  
意見書

○提出者 手塚議員  
・賛成者 東出議員  
・賛成者 吉田議員  
社会資本整備等に関する  
国土強靭化に資する

○コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

提出者 安齋議員  
賛成者 手塚議員  
賛成者 吉田議員

# 公共施設が自動水栓化に コロナ対策で年度内に自動センサー蛇口を設置

コロナ対策で年度内に自動センサー蛇口を設置

9月  
定期会

## 可決された 主な議決事項

- 議案第1号  
令和3年度木古内町一般会計補正予算（第3号）

議案第2号  
令和3年度木古内町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

議案第3号  
令和3年度木古内町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

議案第4号  
令和3年度木古内町国民健康保険病院事業会計補正予算（第3号）

議案第5号  
令和3年度木古内町簡易水道事業会計補正予算（第1号）

議案第6号  
令和3年度木古内町高齢者介護サービス事業会計補正予算（第1号）

議案第7号  
令和3年度木古内町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

議案第8号  
令和3年度木古内町下水道事業特別会計補正予算（第1号）

議案第9号  
木古内町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例制定について

議案第10号  
木古内町中央公民館外壁・屋外建具改修工事請負契約の議決変更について

議案第11号  
木古内町過疎地域持続的発展計画の策定について

議案第12号  
令和3年度木古内町一般会計補正予算（第4号）

同意案第1号  
木古内町教育委員会委員の任命について

同意案第2号  
木古内町固定資産評価審査委員会委員の選任について

報告第1号  
健全化判断比率及び資金不足比率について



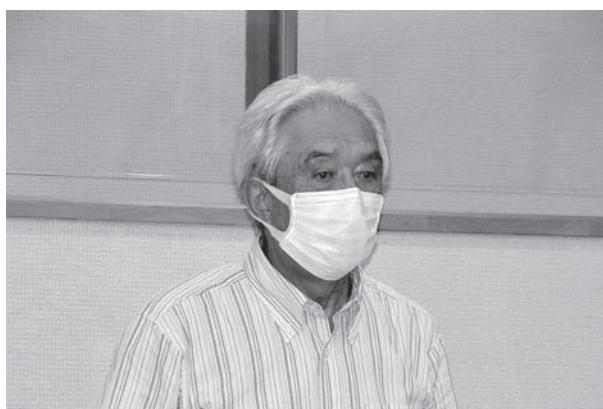


# 一般質問

## 4名の議員が 町政を問う



一般質問は、定例議会（年4回）において、町政全般にわたる事項を議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見、是正を求めるものです。



新井田昭男 議員

- 1 コロナ禍終息を見据えた  
観光交流人口の増加策について**

平野 武志 議員

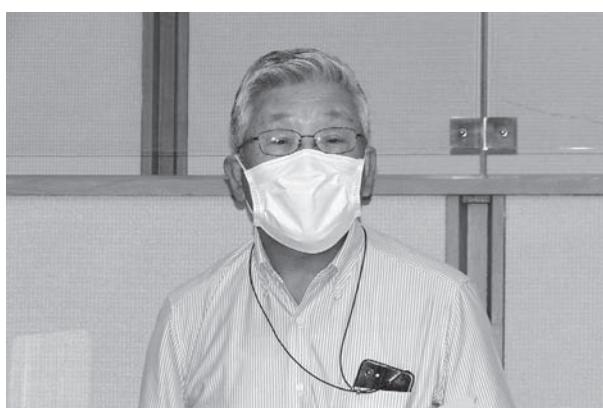
- 1 人口減少対策について  
2 高齢者に対する生活支援について**

竹田 努 議員

- 1 災害対策（台風・大雨）について  
2 新型コロナウイルス感染症対策について**

相澤 巧 議員

- 1 福祉灯油に係る支給基準の見直しについて**





新井田昭男 議員  
Niida Akio

## 問 コロナ禍終息を見据えた観光交流人口の増加対策は

**答** 町の新しい観光スタイルを作り上げていきたい — 町長

8月26日に開催した総務・経済常任委員会において、令和3年度の広域観光や観光事業の現状について説明があり、町の観光資源の乏しさには、憂慮すべきと強く感じました。

今後、コロナ禍で疲弊した我が町の経済活性化を図るために、観光交流人口の増加が必要不可欠と考えますので、来たるべきコロナ禍終息を見据え、觀

六対策においては、地方創生臨時交付金を活用した感染防止対策や地元経済の活性化対策等の施策を展開し、一定の成果が図られています。

去る8月27日に、北  
海道では3回目と  
なる緊急事態宣言が発  
令され、我が町もコロ  
ナ対策をもつては、地

コロナ禍終息を見据えた抜本的な見直しが必要

業体験、漁業体験等の体験メニューを用意しており、さらに、町の自然を活かしましたアートドアやアクトディビティ等の新たな町の資源の可能性について、調査研究を進めます。

また、縄文文化や戊辰戦争ゆかりの地を巡るなど、町のハブ機能を活かした他自治体との連携によって、旅行

**鈴木町長** 当町には、みそぎ祭りや咸臨丸といつた歴史の資産、差しく咲き誇るチューリップや芝桜、本年から町花のツツジの植栽もはじまります。

## 質問1 観光事業におけるコロナ禍終息を目指した抜本的見直しについて

光交流人口の増加による経済発展を目指すためには、再度、事業の精査分析が喫緊の課題と考えますので、町長の見解を伺います。

用途で駆客を団りたいと考えています。これは、サラキ岬の星空観光でございます。夜の9時で咸臨丸のモニュメントの照明が落ち、満点の星空が辺りを包み込むなど、私達が思つてゐる本来の観光資源ではないところ事例もあり、こうした新たな資源は、町としても積極的にPRをしていきたいと考えてい

**質問2** 鯨魚交流人口  
を増加するための新規  
観光スポットの增设の  
考え方について

質問2  
観光交流入口  
客を呼び込むことも可  
能となりますので、私  
が目標とする「持続可  
能な観光」を目指し、  
地域間の連携や民間活  
力を活かし、新しい町  
の観光スタイルを作り  
上げていきたい。

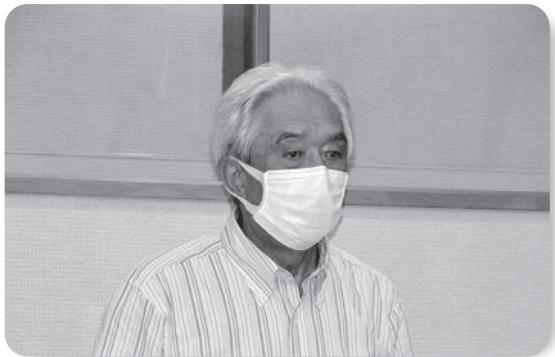
**質問3** 観光事業に対する見直しや観光スポット増設を見据えた予算の考え方について

**鈴木町長** 多世代の家  
族が、一緒にパークゴルフと栗山のエリアで遊ぶことができるといつたものを想定しています。

**再質問** 佐女川地区の栗山エリアをもつともっと進化させるべきじゃないかと。例えばフィールドアスレチックを整備するとか、そういう部分の検討について、私は必要かなと思うますが。

5 2021.11.1 Vol.156  
木古内町議会だより





**竹田 努 議員**  
Takeda Tsutomu

## 問 河川の堆積土砂や雑木は、増水時に氾濫の要因となるが

**答 木古内川の堆積土砂の撤去等、4年間で実施予定 — 町長**

あらゆる災害を  
考慮した対策を

今年も西日本では前線の停滞による長期間の長雨や集中豪雨によって、河川の氾濫や土石流等で、甚大な被害が出ている状況であります。

当町においては、幸い雨量も少なく大きな災害もなかつたため、安堵しているところであります。

今後は、今までこのような大きな災害がなかつたから大丈夫ではなく、いつ災害が発生しても対応できる心構えが必要と思っており、あらゆる灾害を考慮した対策をすべきと考えます。

**質問1** 河川の雑木や河口堆積土砂は、増水時には氾濫につながる要因となります。今後、雑木処理及び河口部堆積土砂撤去の実施の時期はいつ頃の予定か。

**鈴木町長** 木古内川の河口部の堆積土砂の撤去につきましては、北海道では10月末の発注を予定しております。次年度以降も雑木等の撤去を4年間の計画をもつて実施することとなっています。

海道では10月末の発注を予定しております。次年度以降も雑木等の撤去を4年間の計画をもつて実施することとなっています。

**質問2** 本町地区のバイパスや釜谷地区での越波等を防ぐには、以前から言われている人工リーフや離岸堤の設置が急務と考へるが、道との協議の進捗は。

工リーフや離岸堤の設置が急務と考へるが、道との協議の進捗は。

鈴木町長 每年、道への要望を行つておりますが、道の優先順位が低かつたと受け止めています。引き続き、道に対し人工リーフの早期整備、釜谷地区の離岸堤の組みなおしの要望をしていきたい。

**質問3** 防災訓練、避難施設等の新型コロナ対策、防災備品を含む町長の考えは。

鈴木町長 昨年度は町職員による避難所運営

訓練を実施。今年度は、町内会と連携した防災訓練を実施する予定ですが、感染状況を踏まえ開催の判断を決定します。

昨年度、コロナ対策のもつて実施することとなっています。

**質問2** 緊急事態宣言充足しておりますが、女性や高齢者にとって必要な生活品の備蓄も追加検討します。

女性や高齢者にとって必要な生活品の備蓄も追加検討します。

**新規感染者急増  
子ども達の  
安全対策は万全か**

北海道では新型コロナウイルス感染症の新規感染者が8月中旬以降急増しています。

傾向として、若年層の感染が増加していることに加えて、「デルタ株」「変異株」が主流となってきたことであります。誰もが木古内町は安全な町だと認識できるまちづくりが必要と考えます。

**質問1** パークゴルフ

場における町外のシズン券購入者の軽減等を検討できないか。

利用機会の公平性から、町外のシズン券購入者の使用料軽減措置を検討したい。

**質問2** 緊急事態宣言後の一児童生徒の全道・全国大会出場への取り扱いについて。

野村教育長 全道・全国大会への出場は、子ども達の頑張りが認められるとともに、活動をとおした達成感や自己肯定感の高まりが得られたり、人間関係の構築が図られるなど、その教育的効果は大きいと認識しています。

子ども達の感染対策を充分に行い、保護者の理解を得た上で、全国大会への出場を支援したい。

**相澤 巧 議員**  
Aizawa Takumi



## 問 福祉灯油に係る支給基準の見直しを

### 答 支給額の増額について前向きに検討したい —— 町長

**福祉灯油支給基準  
増額の検討を**

**福 基準の見直しにつ**

**祉 灯油に係る支給**

**基準の見直しにつ**

**いてです。現在、当町**

**において、木古内町福**

**祉灯油等支給条例に基**

**づき該当者には支給し**

**ており、大変喜ばれて**

**いる制度です。**

**しかし、現状の灯油**

**価格を見ると、昨年の**

**同時期に比べ30円ほど**

**値上げとなっており、**

**支給額の1万2千円で**

**購入できる灯油が55リッ**

**ほど少なくなります。**

**新型コロナウイルス**

**感染症の終息が見えな**

**い中で、町民の皆様に**

**おいては、冬期間は家**

**で過ごす時間が多くな**

**ると考えられることか**

**ら、支給額の増額を検**

**討していただきたいと**

**思いますので、町長の**

**見解を伺います。**

**鈴木町長 灯油価格に**

**ついては、昨年同時期**

**での比較で30円程度高**

**騰しており、5か年の**

**平均の価格は、およそ**

**87円であります。現在**

**は、平均を5円程度上**

**回っていると認識をし**

**ております。**

**また、福祉灯油の価**

**格については、条例で**

**は1万2千円と規定さ**

**れていますが、市場**

**価格が変動した場合の**

**支給額等については、**

**何も定められていない**

**のが現状です。これら**

**も含め再度、答弁を求**

**めます。**

**新型コロナウイルス**

**感染症の拡大により、**

**外出自粛など、ご自宅**

**で過ごす時間が多くな**

**り、使用する燃料も増**

**加することが見込まれ**

**ることから、支給額の**

**増額について前向きに**

**検討していきたいと考**

**えております。**

**鈴木町長 福祉灯油の**

**支出については、11月**

**に民生委員さんによる**

**現状の調査を実施し、**

**12月に支給するこ**

**ととなつております。**

**鈴木町長 福祉灯油の**

**支出については、11月**

**に民生委員さんによる**

**現状の調査を実施し、**

**12月に支給するこ**

**ととなつております。**

**鈴木町長 本年度は当初予**

**算で約70名分を計**

**ます。2年前の冬の価**

**格まで下がることは考**

**えられない状況にあり**

**ます。**

**算内で収まるようであ**

**れば条例改正で対応し、**

**予算を超える場合は、**

**補正予算と条例改正が**

**必要になります。いず**

**れにいたしましても、**

**新型コロナで大変ご苦**

**労されているという点**

**と福祉灯油政策の見直**

**しは、公約でもあります**

**ので、職員と力をあ**

**わせて、1日も早い実**

**現に向けて取り組みた**

**いと思います。**



55リットルの灯油はボリタンク  
約3本分

ます。2年前の冬の価格まで下がることは考えられない状況にあります。

算内で収まるようであれば条例改正で対応し、予算を超える場合は、補正予算と条例改正が必要になります。いずれにいたしましても、新型コロナで大変ご苦労されているという点と福祉灯油政策の見直しは、公約でもありますので、職員と力をあわせて、1日も早い実現に向けて取り組みたいと思います。

影響を受けないようにするには、一定の条例改正が必要となります。

以上のことから、予算を超える場合は、補正予算と条例改正が必要になります。

算内で収まるようであれば条例改正で対応し、予算を超える場合は、補正予算と条例改正が必要になります。

以上のことから、予算を超える場合は、補正予算と条例改正が必要になります。

決算審査特別委員会 感染症対策事業 常任委員会 お知らせ

# 令和2年度 決算審査 特別委員会

## 令和2年度全10会計の 決算を認定

9月9日と16日の定例会では、令和2年度10会計の決算を議長と監査委員（新井田議員）を除く全員で構成する決算審査特別委員会（廣瀬委員長）を設置し、付託しました。

この特別委員会では、令和2年度一般会計決算のほか9会計を審査し、9月16日に所見を付して全会計を認定しました。

## 決算審査特別委員会 に付託された案件

認定第1号 令和2年度木古内町一般会計決算認定について

認定第2号 令和2年度木古内町国民健康保険特別会計決算認定について

認定第3号 令和2年度木古内町後期高齢者医療特別会計決算認定について

認定第4号 令和2年度木古内町国民健康保険病院事業会計決算認定について

認定第5号 令和2年度木古内町簡易水道会計事業決算認定について

認定第6号 令和2年度木古内町高齢者介護サービス事業会計決算認定について

認定第7号 令和2年度木古内町介護保険事業特別会計決算認定について

認定第8号 令和2年度木古内町介護サービス事業特別会計決算認定について

認定第9号 令和2年度下水道事業特別会計決算認定について

認定第10号 令和2年度木古内町介護老人保健施設事業清算特別会計決算認定について

# 町税、過去10年間で最も高い収納率

## 町民の生命と財産を守るため 備蓄品の収納場所を含め計画の見直しが急務



決算審査特別委員会  
委員長 廣瀬 雅一

自主財源である町税や各種使用料等については、担当職員が収納意識を高く持ち努力されてきた結果、町税においては、過去10年間の中でも最も高い収納率となつており、敬意を表するものである。今後も自主財源確保のため、収納率向上に引き続き努力されたい。

また、町民に対する様々な制度やサービスが展開されている中、利用頻度が少ない事業

が見受けられる。今後は、今まで以上に町民への周知に取り組み、利用率向上に向け、鋭意努力されたい。

防災対策については、例年全国的に大規模災害が発生しており、当町においても大規模な災害が発生する恐れがある。また、北海道がある千島・日本海溝沿いを震源とする巨大地震による太平洋沿岸地域の津波浸水想定が公表され、当町でも津波によ

るさらなる浸水被害が想定される。町民の生命と財産を守るため、備蓄品の収納場所を含め、防災計画の見直しをする必要がある。

各種補助事業については、単年度での費用対効果は見えない事業もあるが、長期的な視野に立ち、今までの事業に対する検証や事業効果について、関係機関と十分に協議検討し、効果的な事業展開を望む。

年ぶりの黒字決算となつた。しかし、現在は入院・外来患者数が通常より大きく減少していることから、コロナ禍終息後の経営に不安を感じるため、今後

の経営について充分な協議をしておく必要があり、様々な対策事業が力されたい。

新型コロナウイルス感染症対策においては、行政や病院関係者のたゆまぬ行動や努力により、様々な対策事業が

効果的に行われ、感謝と敬意を表するところである。今後も町民が安心・安全に生活を維持できるよう迅速かつ効果的な事業展開を期待する。

## 「審査所見」

算の中で、一般会計については、実質収支1億797万8千円の黒字となっている。

令和2年度各会計決算の中では、一般会計に

や各種使用料等につい

ては、担当職員が収納

意識を高く持ち努力さ

れてきた結果、町税に

おいては、過去10年間

の中でも最も高い収納率

となつており、敬意を

表するものである。今

後も自主財源確保のた

め、収納率向上に引き

続き努力されたい。

また、町民に対する

様々な制度やサービス

が展開されている中、

利用頻度が少ない事業

が、実質収支1億797万8千円の黒字と

なっている。

## 質疑抜粋

総務課

今後の地方交付税  
財政計画へは  
どのような影響か

東出委員

歳入の中で

大きくウエイトを占め  
ているのが、地方交付  
税と町税です。

昨年国勢調査を実施  
して、5か年間は地方  
交付税は変わらない中  
で、財政計画への影響  
はどうに捉えている  
のか。

福田総務課長

地方交

ということで、段階的  
に減少していく仕組み  
です。財政計画をきつ  
ちり分析し、收支均衡  
が図られる堅実な財政  
運営することを今後も  
心がけていかなければ  
ならないと考えます。

防災に関する  
資機材の見直しを

東出委員

防災資材の  
実数量ですが、スコッ  
プ等で数量が1という  
のがあります、見直  
すべきものはたくさん  
あると思うが。

また、木古内川が氾  
濫した時を想定する  
建設業協会、建築協会  
との連携が必要だと思  
いますが、見解を伺い  
ます。

工藤主査

防災資材の  
見直しについては、建  
設水道課等含め検討し、  
必要であれば新たに数  
を増やしていくことを  
考えております。

また、災害が起きた  
時に協力していただけ  
るように建設業協会や  
建築協会との協定を結  
んでおり、それらの協  
会と連携して対応でき  
る体制となつております。  
存水が、旧釜谷小学校  
安齋委員

一次産業後継者  
支援事業  
将来展望は

まちづくり未来課

漁業者応援補助金  
担当課はどう  
捉えているのか

産業経済課

吉田委員

一次産業後  
継者支援事  
業将来展望は

吉田委員

木古内町漁  
業者チャレンジ応  
援補助金の額で、説明  
資料は、水産振興費の  
負担金の合計額となっ  
ており、説明資料の説  
明欄には、主な理由の  
み記載させていただい  
ております。

にたくさんある状況で  
すが、これは災害発生  
時に、各避難場所にあ  
る程度確保されており、  
追加分を釜谷小学校に  
置いているという状況  
なのでしょうか。

た時に、担当課として  
の率直な思いをお聞か  
せ願いたい。

田畠まちづくり未来課  
長

主に中  
央公民館に集約しつつ、  
旧釜谷小学校にも備蓄  
しているという状況で、  
各避難所についても一  
部常備、備蓄していま  
す。保管場所ですが、  
災害時に機動的に動け  
るような適切な保管場  
所を検討の上、配備を  
進めていきたいと考え  
ております。

評価をしておりますの  
で、引き続き継続をし、  
後継者対策及び移住・  
定住対策として、支援  
を続けてまいりたい。

また、漁業と林業に  
ついては、活用がない  
という状況であります  
が、こちらも制度を検  
討させていただきたい  
と考えています。

差額の内容は。  
また、不用額が320万  
あり、申請件数の減と  
いう理由だが、担当課  
では、どう捉えている  
のか説明願います。

福井主査

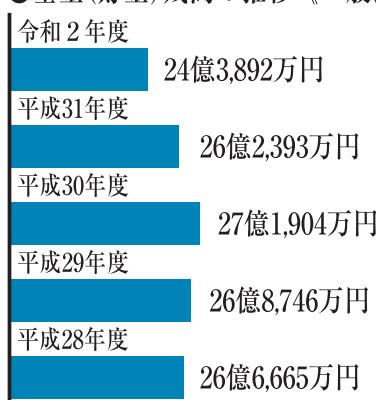
決算書の1  
千500万円強は、木古内

町漁業者チャレンジ応  
援補助金の額で、説明  
資料は、水産振興費の  
負担金の合計額となっ  
ており、説明資料の説  
明欄には、主な理由の  
み記載させていただい  
ております。

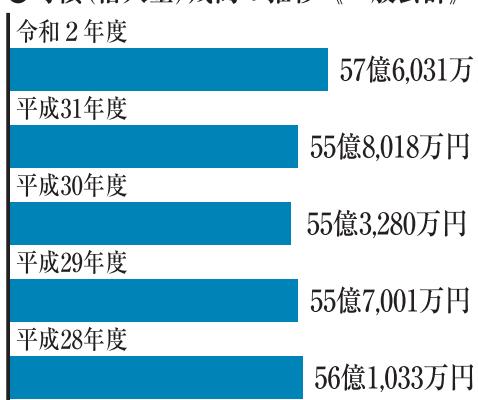
## 木古内町の基金と町債(過去5年)

(貯金) (借入金)

### ●基金(貯金)残高の推移《一般会計》



### ●町債(借入金)残高の推移《一般会計》





# 令和2年度に実施した 新型コロナウイルス感染症対策

## 総額 2億9,526万円

令和2年2月に発生した新型コロナウイルス感染症は、1年と半年を経過しても、未だに猛威を振るっています。最近は、新規感染者も減少してきているものの、まだまだ予断を許さない状況です。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策として様々な施策が実施されてきました。

そこで、令和2年度決算審査特別委員会において行政から報告された新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用して実施された対策事業を紹介いたします。(一覧表は、次ページ)

### 学校施設環境改善空調整備事業

1,870万円

【事業内容】学校環境の改善を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策及び熱中症対策として、普通学級と特別支援学級、保健室に通年換気することのできる換気機能付きエアコンの取り付け工事を行う。

【購入実績】

- ①小学校 1,650万円
- ②中学校 1,176万円

うち①と②を合わせ、前払い金として1,870万円を令和2年度に支出しています。



### 町内イベント等における安全・安心確保事業

247万円

【事業内容】多くの人が利用する公共施設等での感染拡大防止のため、「非接触体温計」及び「サーマルカメラ」を導入する。

【購入実績】

- ①非接触体温計 15台
- ②サーマルカメラ 2台
- ③サーマルカメラ 5台 (タブレット型)

②のサーマルカメラは「道の駅みそぎの郷きこない」で使用しています。



### 小中学校ICT教育推進事業

3,746万円

【事業内容】国が推進する「GIGAスクール構想」を実現するため、小中学校のインターネット環境整備と児童・生徒に対し一人1台のタブレット端末を配布し、教育のICT化を図る。

【購入実績】

- ①小学校 LAN配線工事等 1,032万円
- タブレット端末 123台 1,106万円



- ②中学校 LAN配線工事等 904万円
- タブレット端末 76台 695万円

その他の費用は、貸し出し用モバイルWi-Fiを購入しています。

### 消防署資機材整備事業

502万円

【事業内容】消防業務は、火災・事故等の対応や救急患者の搬送など、不特定多数の住民と接触する機会が多く、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが非常に高いことから、感染予防対策として、必要な資機材・備品を整備する。

【購入実績】

- ①感染防止衣等 353万円
- ②救急サポートウェア等 149万円



## 4. 産業・観光

**1億2,055万円**

<b>(1) 水産業</b>	<b>1,585万円</b>
①漁業者チャレンジ応援補助事業	1,585万円
<b>(2) 商工業</b>	<b>1,459万円</b>
①中小企業振興融資対策事業(信用保証料)	152万円
②中小企業振興融資対策事業(利子補給)	37万円
③感染拡大防止協力金事業	900万円
④対策支援金事業	240万円
⑤町内レンタカー事業者支援事業	130万円
<b>(3) 地域経済</b>	<b>8,338万円</b>
①事業継続応援助成金事業	2,120万円
②木古内町エール商品券配布事業	6,218万円
<b>(4) 観光</b>	<b>558万円</b>
①観光交流センター(道の駅)感染拡大防止事業	87万円
②「木古内エール・スタンプビンゴラリー」事業	99万円
③「木古内エール・トラベルクーポン」事業	372万円
<b>(5) 就労・雇用</b>	<b>115万円</b>
①町内緊急雇用対策事業	105万円
②木古内町失業者生活支援助成金事業	10万円

## 5. 生活環境・交通

**2,936万円**

<b>(1) 住環境</b>	<b>0万円</b>
①無線システム普及支援事業費等補助金	0万円(令和3年度へ繰越)
<b>(2) 公共交通網</b>	<b>290万円</b>
①渡島西部4町地域間幹線系統木古内松前線維持奨励金事業	250万円
②一般旅客自動車輸送事業者支援事業	40万円
<b>(3) 上・下水道</b>	<b>1,670万円</b>
①上水道料金軽減事業	1,670万円
<b>(4) 消防・救急</b>	<b>502万円</b>
①消防署資機材整備事業	502万円
<b>(5) 防災</b>	<b>474万円</b>
①避難所資機材整備事業	474万円

## 1. 福祉・医療・保健

**1,859万円**

<b>(1) 高齢者福祉</b>	<b>9万円</b>
①声かけ訪問世帯への花き配布事業	9万円
<b>(2) 介護福祉</b>	<b>81万円</b>
①介護職員初任者研修事業	81万円
<b>(3) 家庭・児童福祉</b>	<b>422万円</b>
①在宅フレイル対策推進環境整備事業	181万円
②木古内町新生児エール事業	80万円
③児童福祉施設等従事者支援事業	145万円
④子ども子育て支援交付金	16万円
<b>(4) 保健・疾病予防</b>	<b>1,347万円</b>
①布マスク配布事業	452万円
②町内イベント等における安全・安心確保事業	247万円
③新型コロナウイルス感染症対応医療機関支援事業	500万円
④飛沫感染防止事業	148万円

## 2. 教育・文化

**1億2,289万円**

<b>(1) 学校教育</b>	<b>6,871万円</b>
①学校休校による子育て世帯生活支援事業	65万円
②学習特別支援員配置事業	619万円
③木古内町学生等就学エール事業	173万円
④学校保健特別対策事業費補助金	297万円
⑤学校施設環境改善空調整備事業	1,870万円
⑥図書館感染拡大防止事業	55万円
⑦小中学校ICT教育推進事業	3,746万円
⑧学校臨時休業対策費補助金	30万円
⑨学校給食関連事業者支援事業	16万円
<b>(2) 社会教育</b>	<b>5,418万円</b>
①図書館感染拡大防止事業	28万円
②木古内町スポーツセンター換気システム設置事業	5,390万円

## 3. 行財政・住民参加

**387万円**

<b>(1) 行政運営・財政運営</b>	<b>387万円</b>
①木古内町産業会館感染防止事業	92万円
②健康管理センター空調整備事業	295万円

## 総務・経済 常任委員会 レポート

# 新型コロナ

# 更なる注意喚起が必要

長期化になるにつれ、慣れや慢心を懸念

### 所管事務調査報告

町有林皆伐事業  
今後の整備において  
最大限の安全対策を

観光客はもちろん町  
民の憩いの場として喜  
ばれる施設にするため  
には、遊歩道や人道橋  
の整備、鳥獣対策など  
最大限の安全対策が望  
まれる。

新型コロナウイルス  
感染症対策。今以上  
の注意喚起が必要

国内においては、新  
たな変異株の感染者も  
広がり、一向に収束が  
見えない状況である。

緊急事態宣言も含め国  
策や北海道の指針に沿  
つて、対策に講じてい  
るところではあるが、  
高齢者や児童・生徒は  
慣れや慢心が生じるこ  
とが懸念されるため、  
今一度、木古内町新型  
コロナウイルス感染症  
対策本部において、あ  
らゆる対策事業につい  
て、協議・検討し取り  
組むことを求める。



町有林皆伐事業現地視察

産業経済課所管の森  
林環境保全整備事業な  
らびに町有林皆伐事業  
の現地視察を行った。  
佐女川地区においては、  
森林環境譲与税を活用  
し栗や桜等を植樹する  
など、新たな観光スポ  
ットとして公園整備す  
る計画が示されている。

9月定例会において  
「所管事務調査報告」  
が行われました。

総務・経済常任委員会は  
6月定例会以降、所管事  
務調査を1回開催し、9  
月定例会において「所管  
事務調査報告」が行わ  
りました。

### 調査した事務調査

第3回 8月26日開催  
総務・経済常任委員会

- 産業経済課
  - ・森林環境保全整備事  
業(鶴岡地区)現地視察
  - ・町有林皆伐事業(佐  
女川地区)現地視察
  - ・観光事業の現況につ  
いて
  - ・サーモン養殖事業に  
ついて
- まちづくり未来課
  - ・新型コロナウイルス  
感染症対策事業につ  
いて
  - ・木古内町過疎地域持  
続的発展計画の更新に  
ついて
- 町民課
  - ・認定こども園につ  
いて
  - ・特別養護老人ホームい  
さりび
  - ・外国人受入事業につ  
いて
- 保健福祉課
  - ・令和2年度道南ドク  
ターヘリの運用状況に  
ついて

# 議会改革特別委員会

## ～経週報告～

8月6日（金）に第3回議会改革特別委員会を開催しました。

調査事項の「議員定数」については、定数削減という意見もありましたが、現状維持という方向で協議検討しています。また、議員報酬については、増額・現状維持・減額と様々な意見が出されているため、さらなる調査を進める必要があり、もう少し時間を要しそうです。

その他の調査事項については、次回の委員会で決定する予定です。

町民の皆様におかれましては、「議会をこうすれば、さらに良くなる。」というような意見がございましたら、最寄りの議員までご連絡をお願いいたします。（議会改革特別委員会委員長 竹田 努）

# 議員活動に必要な知識を習得

## 様々な研修視察 イベントに参加

### 8. 23 「第2青函トンネル構想」 可能性と実現性について学習



8月23日（月）、函館国際ホテルにおいて道新函館政経文化懇話会が開催され、「第2青函トンネルその可能性と実現性を考える」講演を聞きました。

第2青函トンネル実現後は、本州と車での往来が可能になるなど、北海道の経済効果は絶大です。

### 8. 24 地方議員サマースクール オンライン研修に参加



8月24日（火）、役場3階議場において「HOPS地方議員向けサマースクール」オンライン研修に参加しました。研修では「新型コロナウイルスの影響と北海道経済」や「北海道の観光の今後の生き残り方」等を研修しました。

### 9. 7 木古内保育園で 起工式が執り行われました



木古内保育園では、認定こども園移行化を目指し、園舎の新築工事を計画しておりました。この度、着工に伴い9月7日（火）起工式が執り行われました。

新型コロナウイルス感染症対策として、小規模な開催となりましたが、木古内町議会を代表し、又地議長が出席しました。

### 9. 21 木古内町議会議員会 秋の交通安全街頭啓発を実施



9月21日（火）から秋の全国交通安全運動がはじまり、議員全員による交通安全の啓発運動を、9月21日（火）7時30分からみそぎ浜駐車帯で実施しました。

今後も、議員活動の一環として交通安全啓発運動に取り組んでいきます。

# 我が町のサークル紹介 No.2

～当町で活動しているサークル・団体との懇談会を発信します～



## 日本空手協会木古内道場少年団

日本空手協会木古内道場少年団は、令和2年6月に設立され、流派は、空手道の四大流派の一つである「松濤館流」です。

現在は、団員12名（3歳～12歳）・指導者3名で、主に鶴岡農村ふれあいセンターで活動を行つており、毎週、火曜日と木曜日に稽古を行つています。

日本空手協会では、「日本古来の空手道の研究及び指導によって、その技量の向上と自己鍛錬の普及を図り、もつて国民の体位の向上と健全なスポーツ精神の涵養に寄与するとともに、礼節に重んじる日本武道の精神を国際的に広めることによつて、世界平和に貢献する」（日本空手協会定款より抜粋）を目的としており、当少年団では、指導者からの熱心な指導のもと、「空手を通して礼節を学び、団員の健やかな成長と技術の向上」を目標に頑張っています。

また、団員には、全国大会出場経験者もあり、個人のレベルにあつた指導を心がけておりますので、皆さんの入団を心よりお待ちしております。

### 東出委員 現在の活動

において、お困りのこととはありますか。

### 富田指導員 主に鶴岡

農村ふれあいセンターを活用していますが、夏場は室内が30度以上となるため、団員には、水分補給と熱中症に気付け活動しています。

廣瀬委員 今後、活動する上で望むことは、

ざいました。  
※ご協力ありがと～

**富田指導員 鶴岡農村ふれあいセンター**が避難施設になつていてことと、少年団や農地地区で活用していることを考えると、エアコンの設置とインターネット環境が整備されれば、もっと利用しやすい施設になると思います。

■木古内町の子供たちには、ノーベル賞を含む研究・芸術・スポーツ等の様々な物事に関心を持ち、その道での一流を目指してほしいものです。

■9月30日で新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言が解除されました。が、油断することなく、マスクの着用・手洗い・三密を避ける等のルールを守り、元気に年未を迎えるものです。

## 編集後記

■暑い日が続いていますが、朝晩急に冷え込むようになつてきました。体調を崩さないよう注意しなければと思うところです。

■ノーベル物理学賞に米プリンストン大学上席研究員の「真鍋淑郎」氏が受賞するという喜ばしいニュースがありました。

記事によれば、今は常識とされる「地球温暖化」を50年以上も前に、大気と海洋の循環モデルの統合から予測していたとい

うのですから素晴らしいと思います。

■次日の日には、北大特任教授の「ベンジャミン・リスト」氏（ドイツ）が新たな触媒の開発でノーベル化学賞を受賞するなど、随分と身近に立派な方がいるものだと感心しました。

■木古内町の子供たちには、ノーベル賞を含む研究・芸術・スポーツ等の

議会だより編集特別委員会 副委員長 相澤巧